

セピア色/Yaka

w/m : Yaka

< 曲紹介 >

シンガーソングライター Yaka の幼い日の思い出が詰まった優しく温かい楽曲です。思い出の写真はセピア色に変わっても心の中の思い出はずっとずっと鮮やかな色彩で、誰の心の中でも輝きを失わず生きています。癒しの Yaka ワールドに温かい涙が溢れる一曲です。

オシロイバナの種を砕いて 白い粉を集め
母の真似事 大人のつもり 遠い日のままごと

線路脇の柱に ひとりひとりへばり付き
こわくて動けなくて 泣いたね 危ない遊び ラ・ラ・ラ

当たり前だけれど 今の私よりも 父も母もずっと若くて元気で
たっぷりの愛情を受けて笑っていた
覚えてる懐かしい 母のクリームの匂い

金網張った 青い大きな 庭の金魚鉢
弟とふたり のぞきこんでた コスモスが揺れてた

父の大きな 背中におぶさり
知らぬ間に眠っていた 川辺の散歩道 ラ・ラ・ラ

夕方のカレーの 匂いや野球中継
ざわめいた食卓は 幸せに溢れてた
明るい母の笑顔 優しい父の笑顔
今はアルバムの中 セピア色の思い出

あの頃に戻って ありったけの愛で
親孝行したい セピア色の思い出

鮮やかなアルバムが セピア色に変わる
永遠に続くものなどないけれど
誰でも胸の中に 大切にしまった
思い出はいつまでも 鮮やかに輝いている

誰でも胸の中に 大切にしまった
思い出はいつまでも 鮮やかに輝いている